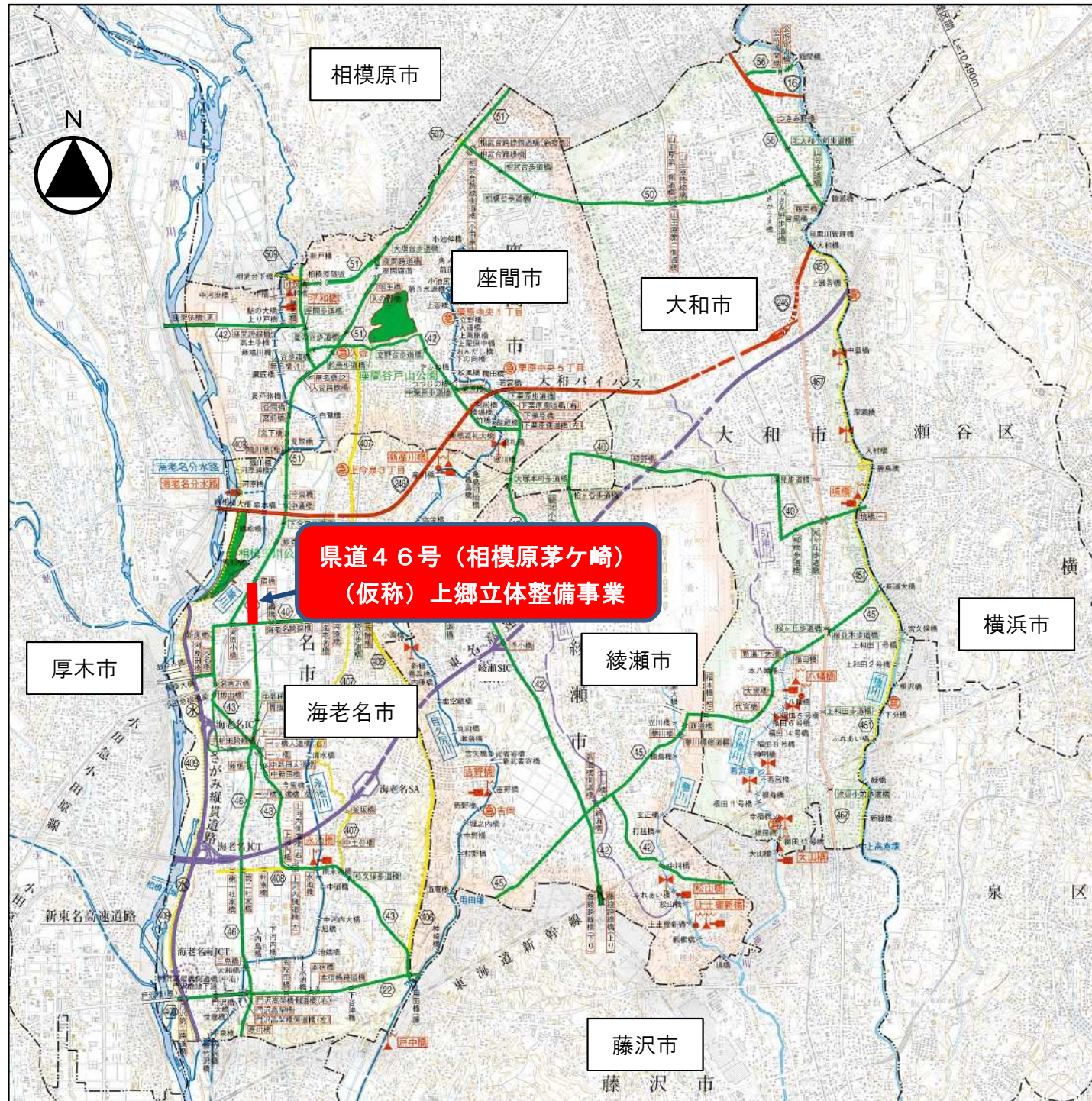
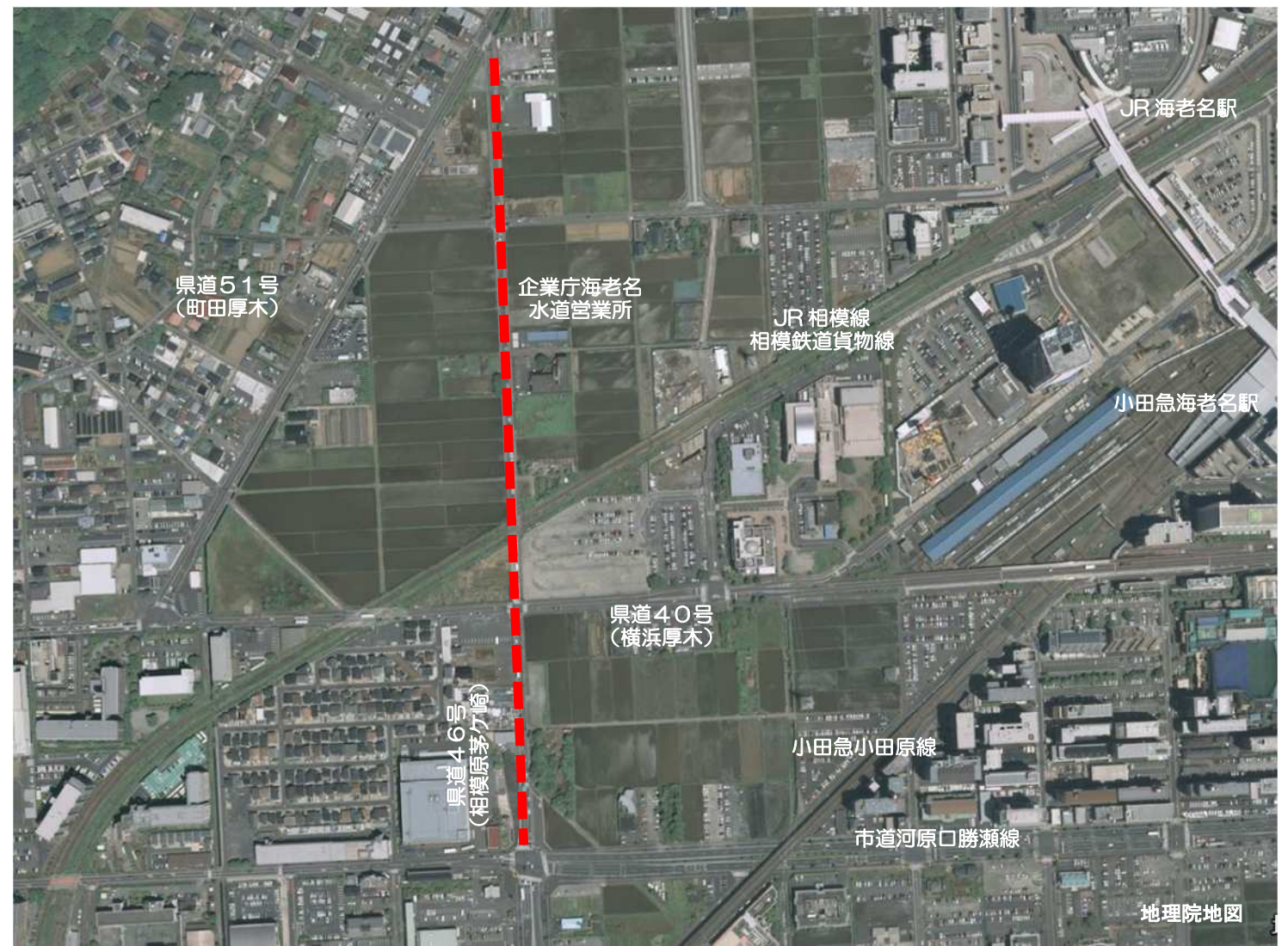


位置図



かみごうりったい
(仮称) 上郷立体

県道46号(相模原茅ヶ崎)立体交差事業



多様な交流を支える道路網の整備と活用

事業の目的

県道46号(相模原茅ヶ崎)は、相模原市中央区上溝の県道54号(相模原愛川)と接続する上溝交差点を起点とし、座間市、海老名市、寒川町を經由して、茅ヶ崎市柳島の国道134号と接続する柳島交差点に至る、県央・湘南地域を結ぶ主要な幹線道路です。

このうち、海老名市内では、小田急小田原線や相鉄本線、JR相模線、圏央道海老名インターチェンジ、国道246号等が集まり、大規模商業施設、高層住宅などが立地する中、市の南北を結ぶ重要な道路となっています。

しかしながら、交通量に比べて車線数が少なく、また、鉄道と交差する踏切により、慢性的な交通渋滞が発生するなど、社会・経済活動に支障をきたしている状況です。

そこで県では、鉄道との立体交差化とともに、道路の4車線化を進め、交通渋滞の緩和に取り組んでいます。

平成20年度までに、小田急小田原線を高架化して踏切を除去し、県道22号(横浜伊勢原)と交差する東河内交差点から市道13号線と交差する河原口大縄交差点までの4車線化を完了しました。

現在は、引き続き、JR相模線、相鉄線(貨物)、県道40号(横浜厚木)との立体交差化と県道51号(町田厚木)と接続する上郷交差点までの4車線化に取り組んでいます。



踏切部の渋滞の状況

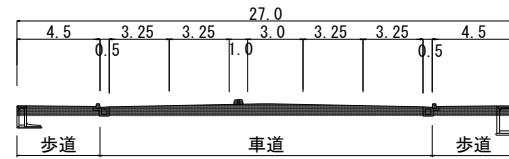


完成イメージ

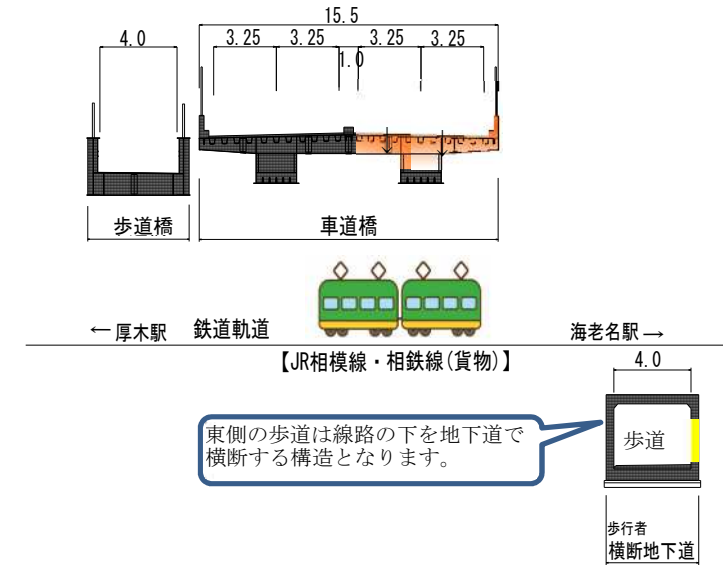
事業の概要

- 路線名 県道46号(相模原茅ヶ崎)
(仮称)上郷立体
- 事業区間 海老名市上郷～河原口
- 道路規格 第4種第1級
- 設計速度 60km/h
- 事業内容 計画延長：L=約800m
計画幅員：W=27.0m～40.3m(4車線)
立体構造：上部工：3径間連続鋼床版箱桁橋
橋長L=170m
：下部工 逆T式橋台2基
ラーメン式橋脚2基

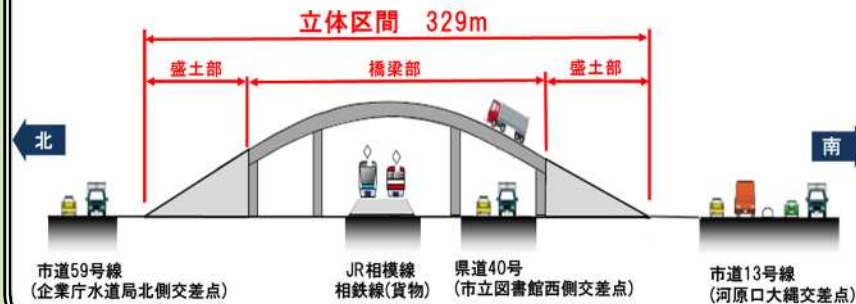
標準横断面図(一般部)



標準横断面図(立体部)



立体部イメージ縦断面図



平面図

